

歳

入



町民文化センター リードウォール

質 個人町民税と固定資産税について、滞納繰越分が平成30年度より300〜400万円増収となっている。滞納整理の方法を改善したのか。

答 (税務課)

基本的に滞納整理は一括で対応。増収理由は、①神奈川県徴収委託制度を利用した。②コンビニ収納を開始し、滞納者が納付しやすくなった。③金融機関へ預金調査等を積極的に実施した。以上の働きかけが滞納減少につながった。

質 町民文化センター使用料が減ってきている。令和元年度の利用の内訳と、その要因はなにか。

答 (教育課)

大ホールが56件、リハール室212件、練習室1が267件、練習室2が174件、練習室3が149件、スポーツ施設として、トレーニングルーム888件、ボールドリング45件の利用があった。要因としては、クラミングの利用が伸び悩んでいること、一般の団体の利用時間数が短く

なったこと。

質 ヤマビル被害対策事業補助金2万6千円と少ないが、寄地区や松田山のヤマビル発生は非常に多い状況である。増額することはできないか。

答 (観光経済課)

ヤマビル被害対策は30万円程の支出で、すべて補助対象事業費であるが、県で割振りが決められ配分されている。知事にも要望しているので引き続き訴えていく。

質 繰越明許費3千3百万円の事業名はなにか。

答 (政策推進課)

①町民文化センターESCO事業、②災害救援事業、③農業振興対策に要する経費、④道路新設改良整備事業費、⑤橋梁長寿命化事業、⑥学校ICT推進事業、⑦現年度災害復旧事業(町道寄11号線災害復旧工事)の計7件。



ESCO事業 冷温水発生装置

質 ふるさと応援寄附金が平成28年度1億5千万円から2年続けて8千万円余に落ちている。体制を整えて増やす方法はあるか。

答 (政策推進課)

今回の第3回定例会で上程した一般会計補正予算(第9号)に、ブランド品開発で新しいものを作る。そして発信して行く予算を計上しました。ふるさと納税は今の税外収入において、人口が減少する中で貴重な財源であるので新たな発信力をもって進める。

令和元年度 会計別決算の状況

9会計の歳入決算額 ⇒ 78億3113万円 前年度比 △5.4%

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



- | | | | |
|---------------|-----------|--------------|-----------|
| ①国民健康保険事業特別会計 | 12億9381万円 | ②介護保険事業特別会計 | 10億9681万円 |
| ③その他6会計の合計 | 7億9094万円 | | |
| ・下水道事業特別会計 | 3億 901万円 | ・上水道事業会計 | 1億6675万円 |
| ・後期高齢者医療特別会計 | 1億8201万円 | ・国保診療所事業特別会計 | 7256万円 |
| ・寄簡易水道事業特別会計 | 3871万円 | ・用地取得特別会計 | 2191万円 |

自主財源 … 市町村が独自に調達できる財源 ⇒ 町税、手数料、使用料、諸収入、分担金 他
依存財源 … 国や県から交付される財源や借入金 ⇒ 地方交付税、国県支出金、町債 他